

# JTの森積丹 新たなステージⅡへ

日本たばこ産業株式会社（JT・東京都）と町は、3月25日に札幌グランドホテルで、「第2期JTの森積丹」の協定調印式を行いました。

調印式は、「ほっかいどう企業の森づくり」を推奨する、佐藤卓也北海道水産林務部長の立会のもと、日本

たばこ産業株式会社小倉健資執行役員と松井町長により協定が締結されました。また、原田北海道森林管理局長、国・道の関係機関の来賓や町議会議員、町内外の関係者が出席しました。

**第1期・10年**  
ほっかいどう企業の森づくりのトップランナーを目指して！

JTの森積丹は、平成22年11月30日に第1期目の協定を締結し、「海を育む水源の森」をテーマに町有林およそ350haをJTの森と設定しました。

10年間の森林整備は、延べ132haで総事業費約20、880千円のうち国・道の助成を除く町費負担分をJTから支援いただきました。

また、JT社員やその家族と町民が参加し、交流を深めた森林整備活動は、合計17回、延べ2,600人の参加者でした。



▲左から北海道水産林務部 佐藤卓也部長、松井町長、日本たばこ産業(株) 小倉健資執行役員



# ～海を育む水源の森に / ほっかいどう企業の森林づくり～ 第2期【JTの森積丹】森づくり協定の概要



日本たばこ産業



企業版ふるさと  
納税寄付金

積丹町



コンセプト：海を育む水源の森に

面積：約350ha

期間：令和3年4月1日～  
令和8年3月31日

## 森林利活用による 地域振興

①体験型観光への貢献



森を活用した新しい体験活動

②間伐材の利用促進



間伐材を活用した観光施設等の木質化や快適環境用品の作製等

④子供たちへの地域環境教育



森・川・海の繋がりを、地域の自然環境から学ぶ

## 森づくりの日

①関係機関や町民参加の  
森林保全・木育教室

③積丹GINの原材料資源化



『積丹GIN』のボタニカル原料を採取

⑤町内産業経済団体等との  
異業種交流



積丹観光協会や商工会等の特産品販売や昼食会

## 森林整備

- ①余別川流域エリア：間伐
- ②美国川流域エリア：更新伐
- ③積丹川流域エリア：更新伐  
(合計106ha)

### 第2期の取組み

「第2期の取組み」  
第2期協定は、令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間とし、第1期と同じ約350haを設定。第1期の森林整備と森林保全活動のほか、「森林を活用した地域振興」に取り組みます。調印式で小倉執行役員は、

「環境保全分野の社会課題の解決に取り組む活動が『JTの森』です。『JTの森積丹』を通じて、北海道・積丹町の地域社会の持続的な発展に貢献するため、引き続き水源の森づくりに取り組んでまいります。」と2期目の決意を込めた挨拶がありました。